「りゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。という氣持ちでお届けしています。

りゅうま伝

8号
2020年7月25日
高野竜馬

「アフターアース」

コロナの自粛生活でアマゾンプライムビデオを契約、経営者の交流会等で仕入れた映画情報を得意氣に、さも自分が見つけて来たように吹聴しまくる俄か映画評論家の高野です。

子ども達もテレビで堂々と、ユーチューブ番組を閲覧できるようになり、大喜びしています。息子しんのすけ(仮名)は幼稚園年長で字も書けないクセにリモコンを巧みに操り、50音の文字列から検索の窓に「おっぱい」と入力して情報入手しようとします(笑)。そのひたむきな姿には或る種の感動を覚えます。

この力を正しい方向に導くことを「子育て」というのかも知れません。親の責任は重大です。

なお、アマゾンプライムビデオは閲覧履歴も表示されるので私も父親としての威厳を守るべく紳士な視聴に努めねばと思う今日この頃です。

そんなチョット威厳ある親父を目指す私が、コロナ禍の今だからこそ見ておきたい映画「アフターアース」をご紹介します。

ウィル・スミス親子が劇中も軍人親子役で登場するSF冒険モノです。

宇宙船である惑星に不時着した親子。お父さんは足を負傷し外に出られません。

助けを呼ぶための交信機を探しに息子が一人、冒険の旅に出ます。

道中、襲いかかってくるアーサという怪獣を倒して交信機を獲得。

無事帰還してめでたし、めでたしという作品です。

アーサは視覚も臭覚もないけれど人の恐怖心を察知して人を見つけては殺すという怪獣です。

このアーサに勝った経験を持つお父さん(伝説の戦士)が、戦いの心構えを息子にアドバイスするシーンが見所です。

「恐怖は現実には存在しない。恐怖が存在するのは、未来を考える心の中だけだ。恐怖は想像の産物だ。想像が恐怖を感じさせるだけで、何も起きないかも知れない。恐怖とは心が産む異常な状態だ。誤解するな。危険は現実に存在する。だが恐怖は自分次第だ。」

この映画を私は2年前、独立する直前に見て、この先の人生と照らし合せました。不安は虚像にすぎず、「今」この瞬間には現実ではないと言い聞かせながら独立したことを思い出します。

そして、今回のコロナ騒動。アーサをコロナと読み替えてはいかがでしょうか。

コロナウィルスは恐怖ウィルス。恐れるな。今に集中しろ!と勇氣づけてくれる映画です。

あたかも自分が見つけてきた映画のように書きましたが実はニュースレター「ラクパ」の園田さんから教えて頂いた作品です。園田さん、素敵な映画を教えてくれて、有難うございます。「りゅうま伝」愛読者の皆様もぜひ一度ご覧ください。

たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13
090-3407-2123
https://www.takanozaikei.com メール fp.takano@gmail.com